



シルバーいなぎ

平成22年3月1日発行
第36号
稲城市シルバー人材センター
広報部

平成22年 第1回 定期総会開催に向けて

常務理事 宮澤 洋

来る3月26日(金)中央文化センターホールにおきまして、平成22年第1回定期総会が開催されます。当日は12時にセンターホール前において受付が開始され、1時に開会の予定となっています。当日は、議案書をご持参のうえ遅れないようにご出席ください。

今回の定期総会は、平成22年度の事業計画や予算のほか、平成22年度中に予定されている公益社団法人への移行認定の申請に向け、第一段階となる決議文の承認など、今後に向けた重要な総会となります。

会員の皆さまお誘い合わせの上、盛大な総会になりますようご協力をお願い致します。

当日の議案は、次の通りです。

第1号議案 平成21年度一般会計補正予算第2号

第2号議案 社団法人稲城市シルバー人材センターの公益社団法人への移行について

第3号議案 平成22年度事業計画

第4号議案 平成22年度一般会計予算

第5号議案 理事欠員に伴う補充について

なお、総会に先立ち『防犯対策講習』として多摩中央警察署による「振り込め詐欺」などの防犯対策についての講演が予定されています。被害防止のため大いに参考になると思います。

議案書は地区長さん、班長さんを通じて会員の皆さまに届けられますので、議案の内容をあらかじめご覧いただき、理解を深めておいて頂きますようお願い致します。

また、総会にあたって事前質問ができますので、質問がある会員は期日までに提出してください。

安全標語応募作品の選定

平成22年度の安全標語を会員の皆様に呼びかけて応募頂き、本年2月初めに厳正な審査を行い、下記のとおり優秀作品が選定され、当SCの推薦作として財団に送りました。

①健康の維持管理について

応募者8名34作品の上位3位までの入選作

★健康で働く姿は美しい シルバー人生これからだ 高橋 精博

★健康で いつも楽しく 無事故で就業 小山 庸夫

★健康維持 日頃努力の積み重ね 山本 修

②安全就業について

応募者7名31作品の上位3位までの入選作

★このくらいと思う気持ちが事故を呼ぶ 稲村 陸雄

★ちょっと待て そのやり方で 安全か 小山 庸夫

★就業前 体ほぐして さあ仕事 矢澤 リウ子

「体力向上講習会」に参加しませんか

安全管理委員会では転倒予防の為に足指力強化とストレッチをインストラクターの方から指導して頂く講習会を実施いたします。

◎ 日 時：平成22年3月12日(金)

午前の部・・・10:00～12:00

午後の部・・・13:30～15:30

◎ 会 場：振興プラザ4階 大会議室

◎ 定 員：午前の部・午後の部共に30名

◎ 参加費：無料

◎ 詳細は「体力向上講習会のご案内」のチラシをご覧いただき、電話または事務局に直接ご来所ください。

交代要員募集のご案内

4月～7月の間は就業満了による交代案件が増えますので注意深く会報をご覧ください。また、希望職種は無償の研修期間があり役員・発注者による面接があります。

《希望職種》 詳細は事務局まで。

グループ	人員	就業時間	交代月	条件
城山文化センター受付	1名	ローテーション	4月	女性パソコン操作要
第3文化センター受付	1名	ローテーション	5月	女性パソコン操作要
文書整理	1名	ローテーション	5月	男性
学校夜間受付(第4中学校)	1名	ローテーション	5月	男性
学校夜間受付(第4中学校)	1名	ローテーション	6月	男性
学校夜間受付(第2中学校)	1名	ローテーション	6月	男性
学校夜間受付(第6中学校)	1名	ローテーション	6月	男性
中央文化センター受付	1名	ローテーション	6月	男性パソコン操作要
学校夜間受付(第5中学校)	1名	ローテーション	7月	男性

前号(35号)記事、「地区長・役職員交流会」の一部訂正

前号の地区長・役職員交流会開催報告記事の開催月が正しくは11月6日のところを12月6日となっております。間違いをお詫びし、訂正させていただきます。

社団法人 稲城市シルバー人材センター 所在地 稲城市東長沼2112-1 稲城市地域振興プラザ3階 電話377-2212 FAX377-7692	

1月31日現在 会員数	647名
	(男性：440名 女性：207名)
受託件数	258件(12月) 199件(1月)
就業実人員	467名(12月) 447名(1月)
契約金額	25,515,585円(12月) 22,733,694円(1月)

「新しい時代に臨んで」10年会員研修

1月18日に例年通りの10年会員研修が16名の先輩方々が参加して行われました。

今年は設立30周年と公益社団法人への移行申請の大きな節目の年になります。文字通り「新しい時代に臨んで」の表題に相応しい研修でした。三澤会長からは、厳しい世情にあって30周年を迎えるが更に40、50周年と高齢化社会に希望の持てるSCを築くために、その第一歩は3月の定期総会に向け公益社団法人への移行の決意表明、さらに9月の臨時総会には新定款と関連規定に関する議案をそれぞれ上程する強い決意が披露されました。

続いて宮澤常務理事の「安全就業について」のビデオによる解説、鈴木前常務理事からは公益法人制度改革で、これからSCはどう変わるべきか、また10年会員の皆様が就業を通して市民の信頼を更に高めるための範であっていただきたい、旨の講義でした。

その後の意見交換では、会長以下事務局の真摯な説明に対し、会員から力強いエールの言葉がありました。



「シルバーに10年在籍して共働・共助の理念を今、実感している。これを若い会員に伝えたい」と力強い言葉がありました。

会員の入退会

期間：平成21年12月1日～平成22年1月31日

各地区	入会者	退会者
矢野口1、2、3	4	なし
押立1、2	なし	なし
東長沼1、2	1	1
大丸1、2	なし	なし
百村	なし	2
向陽台	3	なし
坂浜	1	なし
平尾1、2	1	2
長峰	2	なし
若葉台	なし	1
合計	12名	6名

就業中は 必ず会員証を携帯してください

**安全管理委員・安全対策推進員
合同会議開催**

平成21年度安全管理委員・安全対策推進員による合同会議が稲城市地域振興プラザ4階会議室において、平成21年12月10日に開催されました。(出席者57名、欠席者10名)

☆小山理事が委員長代理として、「心身機能の過信は禁物、油断することなく各自が自覚し、

小山委員長代理の挨拶



事故0を目指して!」との挨拶がありました。

☆21年度安全標語の賞状伝達授与が、三澤会長より矢澤リウ子さんに行われました。

☆講師多摩中央警察署泉龍二氏の「高齢者交通事故例又その防止対策」についての講演・質疑応答などもあり、ビデオ観賞後、宮澤常務理事の挨拶により閉会しました。

☆平成21年度 事故報告(4月～1月まで)

<p>傷害事故 (3件、男性)</p>	<p>植木剪定(脚立からの転落骨折、2件) 公園清掃(バイクで就業現場に向かう途中転倒し骨折、1件)</p>
<p>賠償事故 (3件、男性)</p>	<p>植木剪定(車のフロントガラス破損、1件) 植木剪定(玄関のタイル破損、1件) 草刈(車のサイドガラス破損、1件)</p>

<p>・ 議決事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度一般会計補正予算案 平成22年度一般会計予算案 理事欠員に伴う補充 社団法人稲城市SCの公益社団法人移行手続き・処理について 	<p>・ 30周年記念事業実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ見直し検討委員会 理事・監事選考委員会 	<p>【委員会報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施状況報告(1月分) 	<p>【事務局報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務報告・退会報告 	<p>第8回2月10日永午後2時より</p>
---	---	--	--	------------------------

**東京しごと財団 高橋理事長
当センター来訪**

1月20日に東京しごと財団の高橋理事長が、当センターを訪問されました。

かねてより理事長は、東京都58センターを訪問したいとの希望が、今回の訪問に繋がったものと思われます。当日は、三澤会長、半杭副会長、宮澤常務理事がその対応にあたりました。事務所においての活発な意見交換や現地視察等を通じて、当センターの状況等を、ご理解頂くことが出来たものと思います。



高橋理事長現地視察

安全就業パトロールに財団の丸山氏同行

平成22年1月21日(木)、東京しごと財団の安全就業パトロール指導員丸山眞弘氏による安全就業パトロールが実施されました。

午前中に2か所就業現場を視察し、午後は稲城市SCの安全対策実行計画に基づく調査等が行われました。視察においては、安全面に配慮が行き届いていないところを、直接就業現場でご指導いただきました。また、就業の際は、会員証の携行



指導員丸山氏より脚立からの落下防止の指導を受ける会員

が必要とのお話もありました。

〈高齢者安全運転実技講習会〉のご案内

- ◇日時：平成22年4月11日(日) 午後2時～午後4時
- ◇場所：「多摩ドライビングスクール」
- ◇募集人数：13名(定員になり次第締切とさせていただきます)
- ◇申込締切：平成22年3月31日(水)
- ※詳細は安全管理委員会からのチラシ配布にてお知らせ致します。(自分の運転知識・運転技術の再確認を！)

会員のひろば

＜新年を祝う集い＞ 盛大に開催



和やかな雰囲気新しい年を
祝う会員の皆様

平成 22 年の「新年を祝う集い」は、1 月 15 日 12 時～14 時、多摩センターの京王プラザホテル 4 階「アポロ」の間で総勢約 70 名の会員が参加して開催されました。

はじめに、三澤会長の挨拶、続いて名誉会長の石川稲城市長の挨拶、そして宮澤常務理事の発声で杯を挙げ宴がスタートしました。

和やかな歓談と食事の時間が流れ、恒例となっている演芸の部では本職並みに衣装を凝らしたカラオケ歌手さん達で、のど自慢大会の様相を呈する盛り上がりの中、なんと石川市長の美声も披露され大喝采を浴びていました。また、はかま姿の演舞や多彩な芸も堪能でき、あっという間の 2 時間でした。

締めは半杭副会長による 1 本締めで賑やかに新年を祝いました。

＜お抹茶のいただき方＞を体験

平成 22 年 2 月 23 日（火）振興プラザ 3 階にて、お抹茶をいただく時に困らない程度の作法を学びました。



皆さん楽しく学びました

「思いやり、感謝の気持ち」を大切にする茶の湯の精神も学び楽しくお抹茶をいただきました。

男性会員も参加され、参加

者は 12 名でした。

＜植木グループ＞ 自主研修

平成 22 年 1 月 22 日、市内個人宅の庭内で（お客様のご厚意により場所を提供していただきました）植木グループの自主研修が実施されました。



脚立の安全な使用方法を確認する会

今回の研修の内容は、グループ全体の技術向上の他、脚立による転倒事故が多いため、脚立の安全な設置の確認、使用方法に時間をかけ、安全第一の作業を目指し、参加者全員が真剣に取り組みました。

＜給付報告＞

- ◆弔慰金 奥山 勝幸さん(平尾第 1 地区)
ご冥福をお祈りいたします
- ◆見舞金 波田 千明さん(大丸第 2 地区)

編 集 後 記

3 月 31 日をもって平成 21 年度の広報部の活動が一区切りを終えます。会員の皆様には会報のご愛読大変ありがとうございました。

ところで、この「年度」と言うのは一体何でしょうか。一般的には「会計年度」を指し、ある期間を設け、その中で帳尻を計算するやり方です。この制度は財政法と地方自治法に規定されています。

これに対し、暦の 1 月 1 日から始まる 1 年間に暦年と呼び、これで収支を計算する会社もあります。昭和 47 年に当時の田中角栄首相が暦年会計制導入を提唱したが旧大蔵官僚から反対されて実現できなかったという話があります。ただ、どこで始期・終期を区切るかではなく、「歳出は、その年度の歳入をもって充てる」という原則は複雑な現代の会計制度にあって、いささか古めかしいと思われま